

青 い 鳥

[平成28年4月号]

入園・進級おめでとう！

桜の花も満開となり、新しい門出にふさわしい季節になりました。

寒さ厳しい冬からようやく開放され、今年も何事もない一年になりますようにと心から願うばかりです。

新入園の子どもたちにとっては、初めての社会へのスタートであり、生活が急に変わって何かと不安になるものです。ご家族の皆様には暖かく見守っていただき、一日でも早く園生活・集団活動に慣れることができるようにご協力のほどお願いいたします。

進級園児たちは、「お兄さん」「お姉さん」になりました。気持ちを新たに頑張ってくれることでしょう。期待しています。

幼稚園に入って最初に触れることは「集団生活の中での遊び」です。子どもにとって「あそび」はとても大切なことです。

つまり、「あそび」は大人の仕事と同じ意味を持っています。「友だちと遊びがたくさんできる子ども」そのような子どもに育てていきたいと考えています。

子どもは遊びを繰り返しながら子どもなりに、人間関係の複雑さを自然に学んでいきます。そして自己中心の世界から他人も自分と同じような感情を持った存在であることに気づくようになります。

このような「気づき」の繰り返しから幼児の自発性が生まれ、自分で「自律」できる子どもに育てていきます。子どもは大人が考えるより遥かにたくましい順応性を持っているのです。

お家の方々には、子どもたちが園生活でのリズムをつかむまで、何かとご苦労があるかと存じますが、長い目で我が子の成長を見守って頂きたいと思っております。

園 長 榎 山 恭 子